

調査の概要

- 調査実施日 令和4年9月6日（火）
- 調査の目的
 - ◇大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
 - ◇市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
 - ◇学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
 - ◇生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。
- 調査内容
 - ◆学力に関する調査（国語・社会・数学・理科A/B/C・英語）※理科B1校、理科C4校
 - ◆学習状況に関する調査（生徒アンケート）
- 調査参加者 中学3年生（本市参加者 588人）
- ※教科や出題範囲が限られていることから、中学生チャレンジテストにより測定できるのは学力の特定の一部です。

調査結果について

【①教科別平均点・対府平均比経年比較】

教科別平均点については、すべての教科で府の平均を下回る結果となりました。また、経年比較において、昨年と比較すると府平均との差が広がる結果となりました。特に国語・英語において昨年度や他教科に比べて低下しており、言語系教科への対策は喫緊の課題であると捉えております。

【②教科別得点分布・無解答率】

教科別得点分布については、特に英語科の下位層及び上位層における分布差について、課題と捉えております。
無解答率については、全教科において、府平均よりも高い（無解答が多い）結果となり、「テストに対して粘り強く取り組む姿勢」に課題が見られる結果となりました。

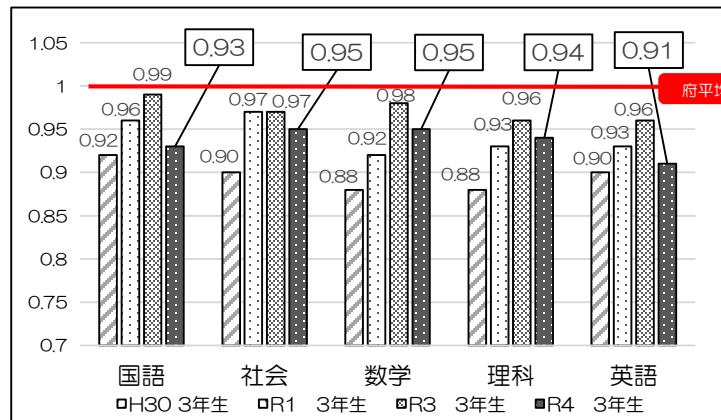
【③観点別・設問別結果】

設問別にみると、特に国語科において、記述式の正答率が他の設問形式と比べて、府平均との差が小さくなっております。授業を通して「自分の考えを相手に伝える、ノートや端末に記入したりする課題」を積極的に取り入れることで、裏面アンケート項目①②③の数値が改善され、その結果、記述式問題への対応力がついてきている成果だと捉えております。

①教科別平均点・対府平均比経年比較

	国語	社会	数学	理科	英語
本市平均点	49.8	52.8	53.1	52.5	49.5
大阪府平均点	53.8	55.4	56.0	56.1	54.2
対府平均比	0.93	0.95	0.95	0.94	0.91

※対府平均比とは、大阪府平均を1としたときの本市平均の値です。



※R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施されていません。

今後に向けて

【学力向上が見られた市内学校の取組】

- ・学校全体で教員同士が日々の授業を参観し合い、教科の指導方法や発言のポイントなどを具体的にアドバイスし合うことで、日々の指導力向上を図る「相互授業参観」の取組を行っている。
 - ・「帰ってから、家族に伝えたいような授業」を目標にし、やる気が出て、楽しく、わかる授業づくりを全教職員で追及している。
 - ・各教科の授業改善はもちろん、体育祭や文化祭などの学校行事や「職種体験プログラム」などの総合的な学習の時間にも力を注ぎ、学校全体のエネルギーを高めることで、学習に対する意欲も高めていくという学校全体の意識改革を行っている。
 - ・「タブレット端末の使用は円滑で効果的な学習活動をするための手段の一つである」という認識をしっかりと持ち、そのメリットとデメリットについて常に検証しながら、効果的な使用事例や、あえて使用しない事例などについて、日々交流している。
- 教育委員会では、これらの取組を好事例として、その意義・目的とあわせて市内全体に普及させてまいります。

【課題に対する教育委員会の方策】

- ・指導主事を各校に派遣し、授業や取組に対する指導助言、教員研修等の充実を通して各校の授業改善、学力向上の取組を支援する。
- ・将来への具体的な展望を持つことで学習意欲や学習習慣につなげることができる「キャリア教育」を、全市的に普及させる。
- ・教育委員会が主催している「摂津SUNSUN塾」について積極的に周知し、学習習慣を身に着けるための場を提供する。
- ・一人一台のICT端末を活用した教育について、学力調査等を通して随時検証し、より効果的な活用についての指導・助言を行う。

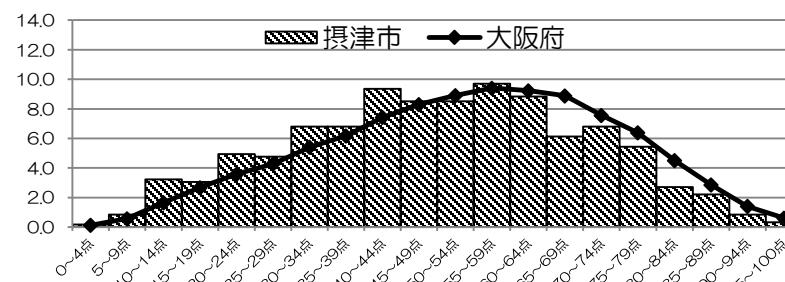
【家庭へのお願い】

- ・学校での授業の様子や宿題・課題の内容について、時には一緒に問題を解いたり、意見を交わしたりしながら、子どもたちとたくさん話す機会を作っていただきますようお願いいたします。
- ・スマートフォンやゲーム機の節度ある適切な使用について、家庭でよく話し合い、ルールを決めるなどの対応をお願いします。
- ・家庭学習の定着・積み重ね・習慣化が、子どもたちの力となり、中学3年時の進路選択や、その後の未来を生き抜く力に大きく関わります。家庭学習ができる環境を整え、子どもたちを見守り応援していただきますようお願いいたします。

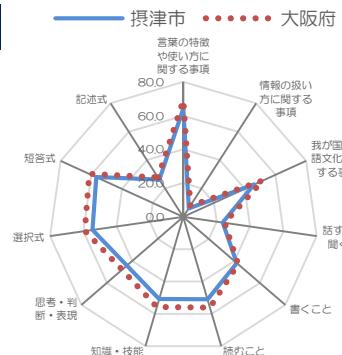
②教科別得点分布・無解答率

国語

無解答率 本市 14.0%（令和3年度7.8%） 大阪府 12.1%（令和3年度7.6%）

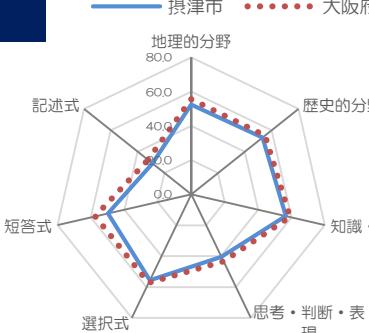
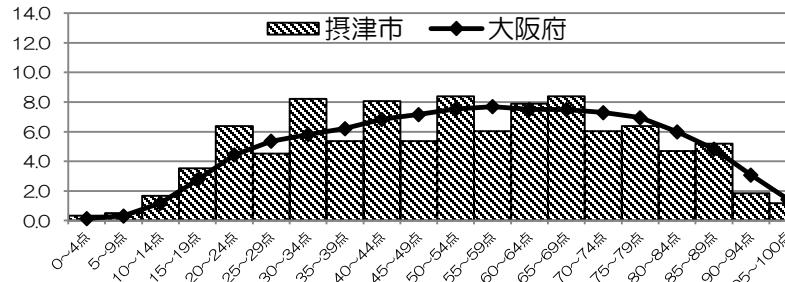


③観点別・設問別結果



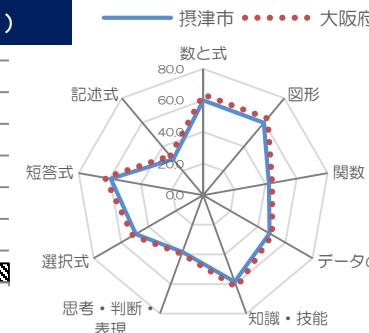
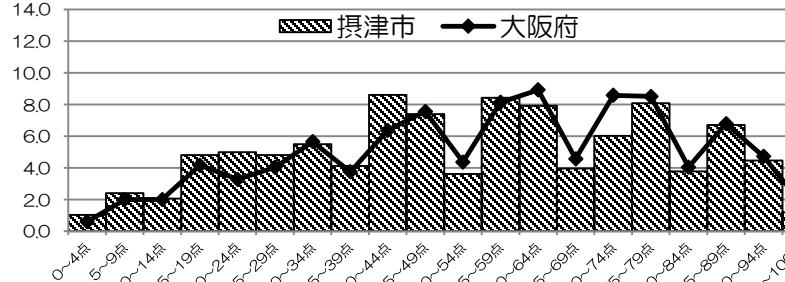
社会

無解答率 本市 5.7%（令和3年度6.1%） 大阪府 4.6%（令和3年度5.8%）



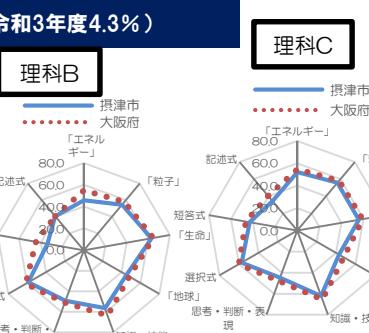
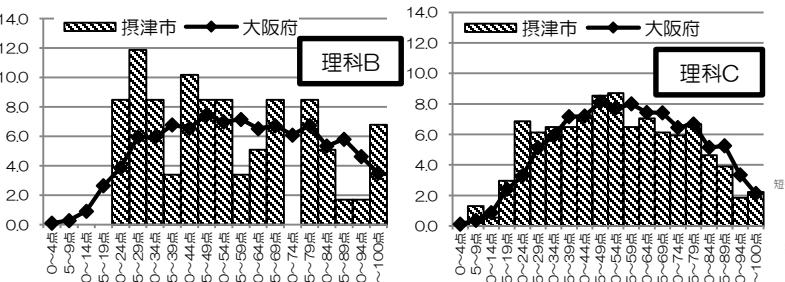
数学

無解答率 本市 10.6%（令和3年度10.8%） 大阪府 9.6%（令和3年度11.2%）



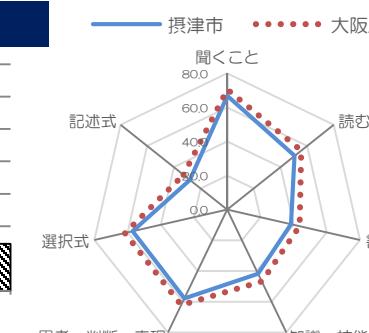
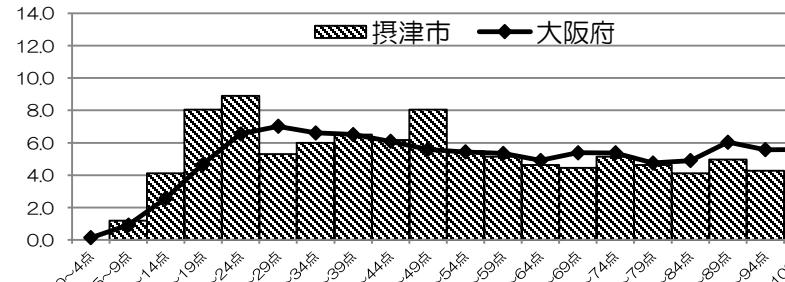
理科

無解答率 本市 B:5.4% C:7.7%（令和3年度4.2%） 大阪府 B:6.0% C:5.8%（令和3年度4.3%）



英語

無解答率 本市 8.7%（令和3年度3.8%） 大阪府 7.1%（令和3年度3.4%）



授業についての意識調査

生徒アンケートでは、授業における学習活動の中身や学習集団としての成熟度、家庭学習やインターネットの使用についての質問など、右記①～⑧の項目に対して、生徒自らが判断し、回答します。

同じ学年集団の経年比較と、府内の中学3年生全体の傾向と比較するため、中学1年時・中学2年時のアンケート結果と大阪府全体のアンケート結果も記載しています。

アンケートの全体的な傾向として、同一集団内の1年時から3年時の経年比較において、数値の改善が見られます。

【主体的・対話的で深い学び】

①②③の項目について、中学1年時と比較して改善しております。生徒が主体的に参加し、自分の考えを表現し、伝える活動（主体的・対話的で深い学び）を多く取り入れた授業を展開している成果と捉えております。

ただし、①②③いずれの項目においても大阪府全体の数値よりも下回っている現状を踏まえ、より一層、授業改善に努め、自ら考え、伝え、深めていける子どもたちを育成してまいります。

【ICTの学習活動における活用】

④に関しては、大阪府全体と比較してもかなり高い活用率となっており、摂津市で力を入れているICT教育の成果だと捉えております。今後、一人一台タブレット端末の効果的な活用についてさらに検証を進め、生徒の主体的な学習活動へとつなげていけるよう、各校に指導・助言してまいります。

【学習に向かう集団作り】

⑤の項目について、同一集団において中学1年時から年々改善されております。摂津市全体で『魅力ある学校づくり』をテーマに、生徒一人ひとりの心理的安全性を高める取組を行っており、「誰にとっても居心地がよく、一人ひとりの色んな意見が大切にされる集団づくり」を行ってきた成果であると捉えております。

【家庭学習の習慣】

⑥について、1・2年時と比べ改善したものの、大阪府全体よりもやや下回る数値となっております。また、⑧においては、スマートフォンの使用時間が大阪府全体の数値と比べて高めの傾向にあります。各中学校において、自ら進んで「勉強したい」と思わせるような授業づくりや課題提示を行うとともに、スマートフォンの節度ある適切な使用について、家庭と連携を取りながら、生徒たちに啓発してまいります。

ご家庭におかれましても、子どもたちの家庭学習の定着について、ご協力をよろしくお願いいたします。

チャレンジテストについては、大阪府全体の調査結果とともに、「ワークブック」や「かだめしプリント」などの学習ツールが大阪府教育庁市町村教育室小中学校課のWebページに掲載されていますのでご活用ください。

【かだめしプリント】

<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/chikarasyoukai/index.html>

【ワークブック】

<http://wwwc.osaka-c.ed.jp/kate/karicen-folder/workbook-for-pref/workbook-index.htm>

【ことばのちから】

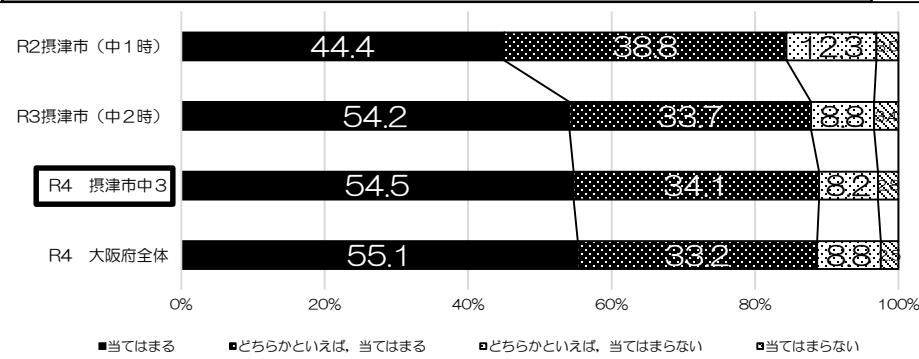
<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/kotobanotikara/kotoba-katuyou.html>

【中学生チャレンジテスト】（正答例なども掲載）

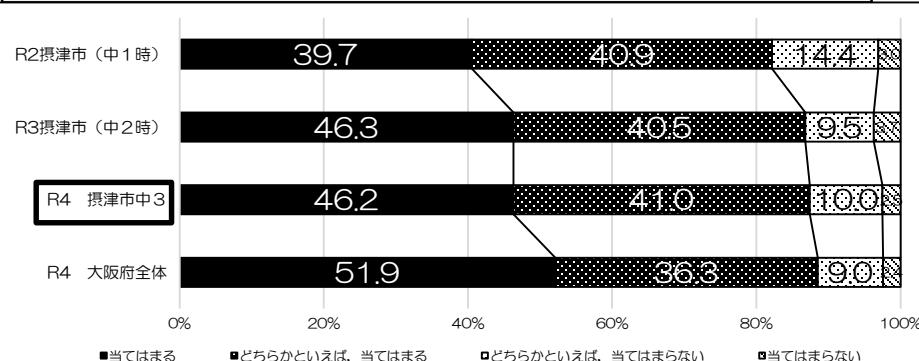
<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/index.html>

前年度までの回答及び今年度の大阪府全体の回答との比較

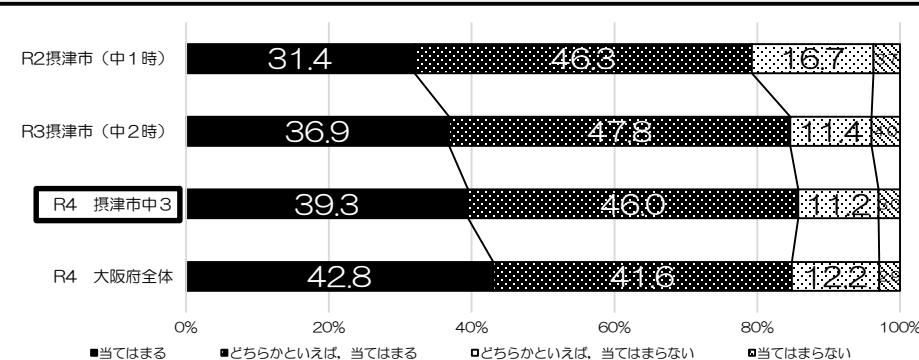
①授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。



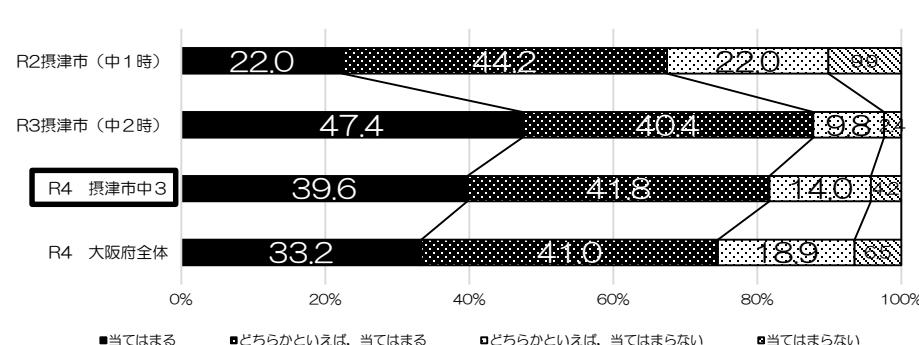
②授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。



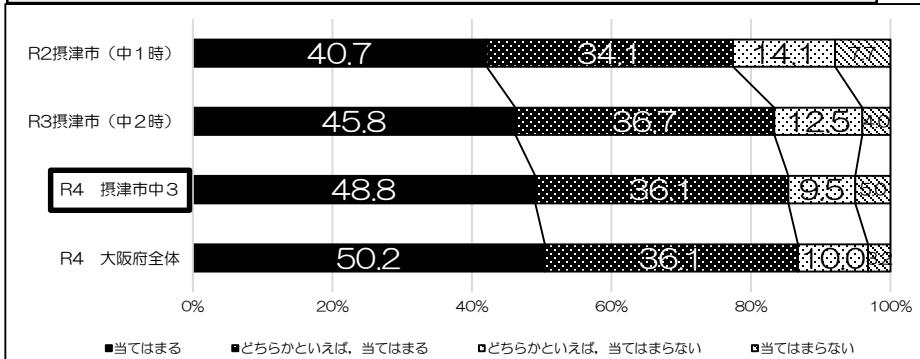
③授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。



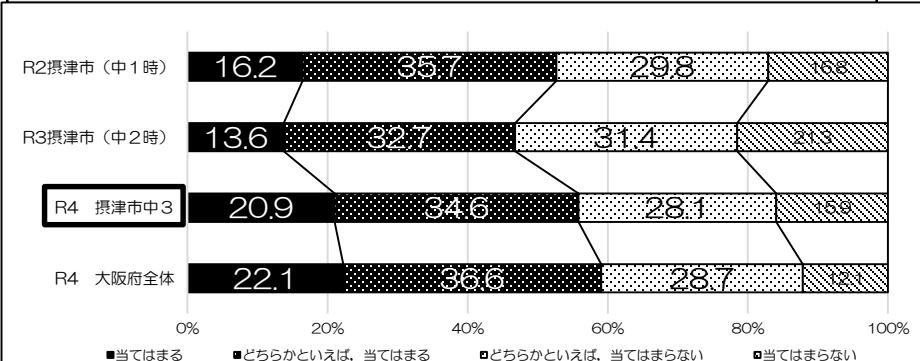
④授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。



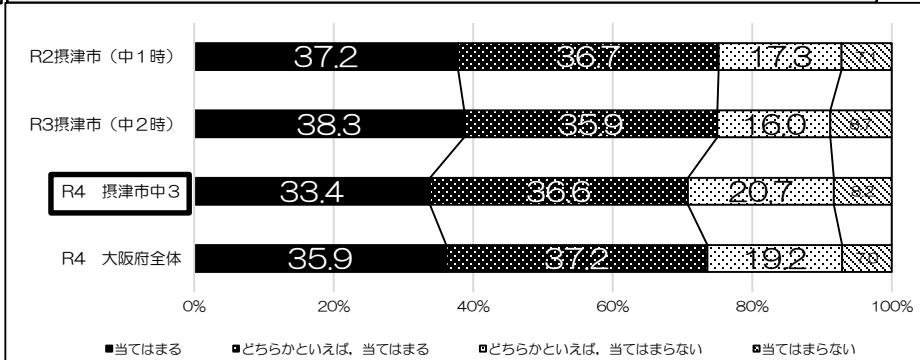
⑤授業中、間違っても笑われない。



⑥自ら課題を見つけて、家で勉強をしている。



⑦テレビや新聞、インターネットなどのニュースを見る。



⑧普段（月曜日から金曜日）、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますか。

